

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 荒川区立尾久宮前小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 116-0011
東京都荒川区西尾久1-4-17
 E-mail : _____
 Website : <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/OGUMIYAMAE-E/>
 児童生徒数：男子 112名 女子 119名 合計 231名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

「人と人・人と自然・人と社会がつながる活動を通して、持続発展する社会を築き世界平和に貢献できる人材を育てる」ことを目標に以下の活動を行った。

- 6月と9月に新潟県三条市「新潟緑の百年物語」に参加。三条市「栄ブナの会」と本校「宮前ブナの会」が協力してブナの植林を実施した。(環境教育)
- 12月から3月にかけて「鮭の里親事業」を実施。学校で卵から育てた鮭の稚魚を最上川上流まで行って放流した。(環境教育)
- 7月に校長が「韓国政府日本人教職員招へいプログラム」に参加した。
- 12月に「中国教職員招へいプログラム」を実施した。中国教職員等28名が本校を訪問し、全校児童に授業をした。

(食育として)

- 1年生は小松菜栽培・大根栽培
 - 切り干し大根作り(日本の伝統食体験)
 - 朝顔栽培で次学年に種を渡す・カブトムシを卵から育てる(命のサイクル)
- 2年生は小松菜栽培・なすやトマトの栽培
 - 親子で東京の雑煮作り(日本の伝統食体験)
 - 教室でモルモット飼育(動物の飼育体験)
- 3年生は大豆栽培
 - 親子で豆腐作り(日本の伝統食体験)
- 4年生は三河島菜栽培(江戸伝統野菜を復活させ、地域に広めた)
 - レシピ作りを通してユニセフに募金活動実施
- 5年生はお米作り(社会科と兼ねる)・宮前味噌造りを実施
 - 11月の習発表会で「日本の主食～ある農家の挑戦～」を発表した
- 6年生は宮前味噌造りを実施
 - 11月の学習発表会で「主食の王様」を発表した
- 「宮前キノコ園」で3年生がシイタケ狩りを実施した
- テレビ会議システムを活用して山形県鮭川村と交流した。両校が学習したことを発表し、互いに学んだ。更に鮭川村からキノコを提供していただき全校で「キノコ給食」を2回実施した。
- その他①
 - テレビ会議システムを使い英語で国際基督教大学と交流した。(多文化体験)
- その他②
 - 合宿通学を実施した。町会会館に3泊4日自炊しながら登校した。(人と人・人と社会がつながる活動)
- その他③
 - 三菱UFJプロジェクトで「ゴーヤグリーンカーテン50mプラン」を実施したが酷暑のためゴーヤが枯れてしまった。カーテンによる1階と2階の気温差を計測できなかった。(環境教育の失敗)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ✓ 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）